

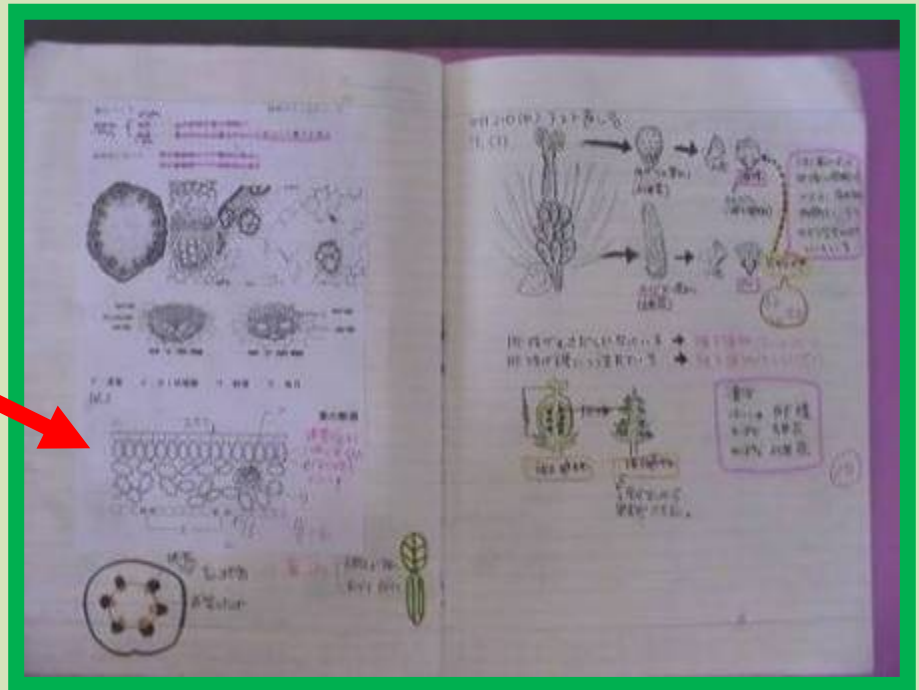
# 家庭学習の充実 効果的なノートの活用

東部教育事務所

学力を定着させるためには、日々の授業を踏まえた家庭学習を着実に進めることが重要です。特に、「家庭学習ノート」を効果的に作成し、積み重ねていくことがポイントです。J中学校、K中学校の事例を通して考えてみましょう。

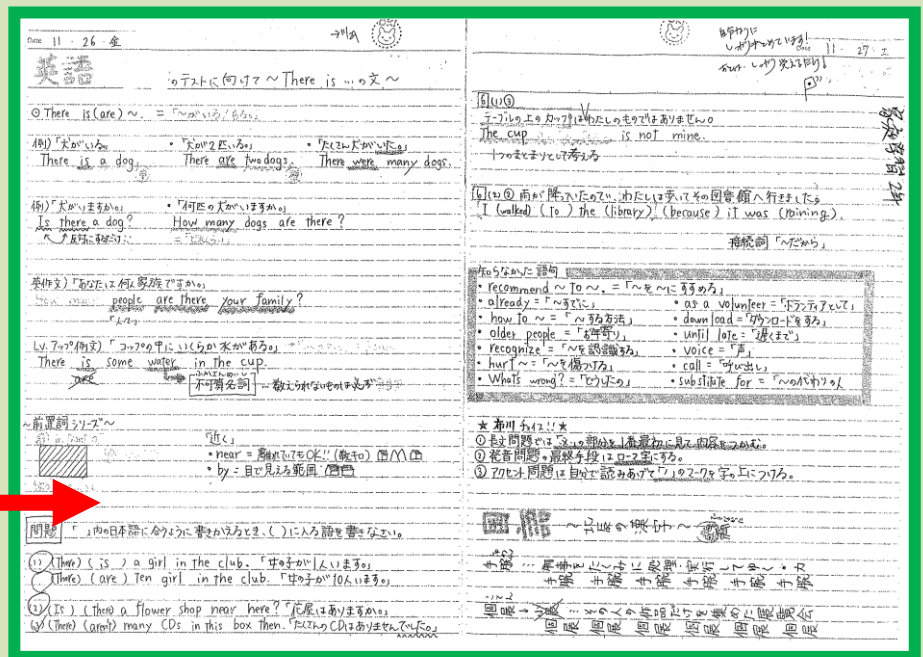


## 1 家庭学習ノート例



J中学校は全校体制で、ノート指導に力点を置いて取り組んでいます。その一つの取組として、「ノートを美しく」の掲示物を作成し、子どもがいつでも参考にできるようにしています。

この成果として、家庭学習ノートにも、その成果が現れています。視覚的にも見やすく整理されています。この積み重ねが、思考や表現力を鍛え、学習を定着させていきます。

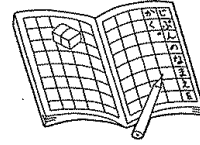


## 2 家庭学習ノートの使い方

### ○ 月曜日は家庭学習の日

#### 家庭学習の日の取り組み（毎週月曜日）

- ① 家庭学習ノートを準備します。
  - ② このノートを使って学習します。漢字練習、計算、授業のまとめ、「ライズeライブラリ」の取り組みなど、自分でやりたい学習をします。
  - ③ 「学年+30分」が目標の学習時間です。
  - ④ 家庭学習ノートは、火曜日の朝担任の先生に提出します。
- ※ ノートが一冊終わったら、二冊目に挑戦しよう！  
1年間で何冊の家庭学習ノートができるかな？



### ○ 家庭学習ノートの使い方（このノートを参考に取組もう。）

**数学**

◇平行線、角の関係を再考

＜ポイント1＞  
対頂角... 2直線が交わり、交点のまわりの角が1周。  
2つの対頂角は、たがひ角。  
 $\angle a = \angle c$ 、 $\angle b = \angle d$ は対頂角  
対頂角の性質... 対頂角は等しい。  
 $\angle a = \angle c$ 、 $\angle b = \angle d$

＜ポイント2＞  
錯角と角  
錯角... 2直線が交わり、交点のまわりの角が1周。  
錯角の性質... 錯角は等しい。  
錯角が等しいならば、2直線は平行である。  
→ 同位角  
→ 錯角

＜ポイント3＞  
内角... 多角形の頂点に接する角の5  
図形の内部に接する角。  
三角形の内角の和... 三角形の内角の和は、180度である。  
多角形の内角の和... 多角形の内角の和は、 $(n-2) \times 180$ 度である。

◇図形のまとめ  
○多角形の1つの内角は、その外角より2つの内角の和に等しい  
○多角形の1つの外角は、 $180 - \text{内角}$   
○多角形の1つの外角は、その外角の和は360度である  
○多角形の2つの内角について、一方の内角を移動（平行移動）させると、その2つの内角は、合同（同じ）になる。  
○合同の記号 → ≡

**【酸化還元】**

◇この本初！  
酸化... 物質が酸素と化合して酸化  
酸化剤... 酸化によって生成する物質  
還元... 酸素を出さず酸化  
還元剤... 酸化剤から酸素を奪う物質

酸化還元反応  
鉄と銅の反応  
鉄が酸化して銅が還元される。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。

◇この本初！  
還元剤... 鉄が酸化して銅が還元される。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。

2Cu + C → 2Cu + CO<sub>2</sub>

酸化還元反応... 鉄が酸化して銅が還元される。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。  
鉄は酸化剤、銅は還元剤。



**6 つの地球の動き**

1. 地球の自転  
2. 地球の公転  
3. 地球の傾斜  
4. 地球の自転と公転の関係

地球の自転... 地球は24時間で1回転する。  
地球の公転... 地球は1年で1回転する。  
地球の傾斜... 地球の軸は23.5度傾いている。  
地球の自転と公転の関係... 地球の自転と公転は、地球の動きを決定する。

**扇の的**

扇の的... 扇の的は、扇の中心を原点とする。  
扇の的の面積... 扇の的の面積は、 $\frac{1}{2} r^2 \theta$ である。  
扇の的の長さ... 扇の的の長さは、 $r \theta$ である。  
扇の的の幅... 扇の的の幅は、 $r$ である。


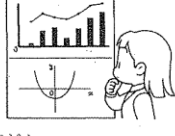



K中学校は、家庭学習を効果的に進めるための「家庭学習を習慣化するために」（シラバスの一部）を作成し、日々の学習指導に活用しています。

この取組の過程で、学力向上にも大きな成果を上げています。このシラバスに「家庭学習ノートの使い方」も示し、「ノート指導」にも力を入れています。参考にしてください。

# 「家庭では、こんな学習を進めてみよう」

(教科の先生からのアドバイス)

教科	こんな学習を進めてみよう。まずはやってみよう！
国語	<p>①学習しているところの難しい漢字をノートに書いて覚えよう。</p> <p>②学習しているところのわかりにくい語句について辞書で調べよう。</p> <p>③学習しているところの「好きな表現」をノートに写して、その部分の感想や気付いたことを書いてみよう。</p> <p>④小テストや定期テストで間違えた漢字をノートに何度も書いて覚えよう。</p> 
数学	<p>【復習として】</p> <p>①授業で学習したところ(教科書)をもう一度しっかりと読み、そこにある問題を解いてみよう。</p> <p>②教科書にそったワークブックにある問題をやってみよう。そして、採点して間違えた問題をもう一度やると力がつくよ。</p> <p>③計算問題は継続的にノートにやろう。途中の計算を書くことが大切だよ。</p> <p>【予習として】</p> <p>①次の授業でやるところ(教科書)を読んでみよう。</p> <p>②教科書にある例題を参考にして問題をやってみよう。できなかった問題をチェックしておき、授業でしっかりと聞くようにしよう。</p> 
社会	<p>①教科書を、声を出して何回も読んでみよう。</p> <p>②教科書にある太字をノートに書いてまとめてみよう。まとめかたがわからない時は、授業で写したノートをもう一度書き写してみよう。</p> <p>③プリントやワークを進めてみよう。3回くらい繰り返すと実力がつくよ。</p> <p>④地理なら、国名・県名を中心に覚えてみよう。</p> <p>歴史なら、この人物は「何をしたか」を中心に覚えてみよう。</p> <p>年表を書き写して覚えるのもいいよ。</p> <p>公民なら、表や図に注目して書いてみるといいよ。</p> <p>⑤チャレンジテストなどを繰り返して、完璧を目指そう。</p> 
理科	<p>【授業の復習を中心に】</p> <p>①授業でやったところを、文章にしてわかりやすい図や表にまとめてみよう。</p> <p>②きれいに整理したことを、何度も読んで覚えよう。</p> <p>③授業でやったところはワークをやってみよう。問題は、何度もチャレンジしよう。</p> <p>④定期テストで間違えた問題は、もう一度復習しよう。</p>
英語	<p>①英単語をノートに何度も書いて覚えよう。そしてすぐに採点しよう。できなかった英単語は再度覚えよう。</p> <p>②熟語の例文を書いて、使い方を覚えよう。</p> <p>③教科書の本文をノートに書き写して、日本語訳を覚えよう。</p> <p>④授業で学習する新しい表現文を書いて覚えよう。</p> <p>⑤どれだけ理解したか、ワークをやってみよう。うろは、もう一度復習しよう。</p>

☆「ライオンズ e ライブラリ」にはたくさんのお問

教科の先生や先輩のアドバイスは、効果的な学習法として「ノートの活用」を促しています。メリットを整理してみましょう。

## ＜ノートのメリット＞

- ①ノートに書くことで、思考の曖昧なものも明確になります。
- ②ノートに書くことで、思考を整理し、構成力等を鍛えます。
- ③ノートはいつでも、振り返ることができ、定着を促します。
- ④ノート学習を積み重ねていくことで、学習の足跡が残り、満足感を得ることができ、学習意欲につながります。等

## 先輩からのアドバイス・・・「私の勉強法」

第3学年家庭学習編

教科	こんなふう勉強したら効果がありました
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書をすずんでやる。(登場人物の心情を考え、読解力を身につける)</li> <li>・ワークを何回もやり直し、完璧にこなす。</li> <li>・漢字はひたすら書いて覚える。(読み方を口ずさみながら書くとうい)</li> <li>・授業で学習したことや教科書の重要箇所をノートにまとめる。</li> <li>・短作文を自主的に何度も書いて、先生に添削してもらう。(表現力アップ)</li> <li>・毎日一つ、説明的文章や小説などの読み取り問題をやる。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算問題をたくさん解いてミスを減らし、その後応用問題に取り組む。</li> <li>・間違えたところは何度も解き直す。(分からないことをそのままにしない)</li> <li>・公式や定理などを、ノートにわかりやすくまとめる。</li> <li>・ワークを何回もやり直し、完璧にこなす。</li> <li>・計算問題や文章問題を何度も解き、やり方や考え方を理解する。(応用できる)</li> <li>・夏までに基礎を固め、それ以降は応用力に磨きをかける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文や人物名、太字などのマーカーを引く。</li> <li>・ひたすら書いて覚え、あとから覚えやすくするようにノートにまとめる。</li> <li>・プリントやワークなどを何度も解き、何度も登場する重要項目は必ず覚える。</li> <li>・自分でわかりやすい年表を作り、時代ごとの特徴をまとめる。</li> <li>・統計資料や写真や図も、ノートに書き写したり切り貼りしたりして覚える。</li> <li>・ニュースや新聞を見たり読んだりする習慣を身につけると、公民が分かる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントやワークなどを何度も解き、理解を深める。</li> <li>・実験のあとは、必ずノートに、実験の手順や動作の意味・理由をまとめる。</li> <li>・実験や器具の「やってはいけないこと」の注意事項とその理由をまとめる。</li> <li>・化学式や公式は、何度も書いて完璧に覚える。図も書き写してみる。</li> <li>・天体は、ノートに重要語句を書くだけでなく、体を使って覚える。</li> <li>・用語よりも、理屈などを説明できるように、文章にまとめる。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントやワークなどを何度も解き、理解を深める。</li> <li>・授業で学習したノートやプリントを、別のノートに整理してまとめ直す。</li> <li>・英単語は、発音しながら、毎日何度も書いて覚える。</li> <li>・文法は毎日こつこつノートにまとめ、リズムで覚える。</li> <li>・短い文の英作文をノートに書いて、先生に添削してもらう。(表現力アップ)</li> </ul>

物質の状態変化・気体の性質

①物質が固体の状態から液体の状態に変化する際の温度を融点という。

②物質が液体の状態から気体の状態に変化する際の温度を沸点という。

③液体を気体にし、それを冷やして液体に戻す過程を蒸留という。

④他の物質を溶解させた液体を溶液とよぶ。溶質とよぶ。

⑤石炭水素を白くしたものは二酸化炭素である。

⑥物質中で最も密度が大きい(軽く)燃える気体は水素である。

⑦水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑧水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑨水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑩水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑪水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑫水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑬水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑭水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑮水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑯水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑰水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑱水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

⑲水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

⑳水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉑水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉒水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉓水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉔水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉕水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉖水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉗水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉘水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉙水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉚水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉛水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉜水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉝水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㉞水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㉟水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊱水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊲水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊳水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊴水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊵水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊶水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊷水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊸水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊹水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊺水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊻水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊼水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊽水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊾水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

㊿水に比べて軽い気体は水素とよぶ。

㊿水に比べて重い気体は二酸化炭素である。

